

世持御嶽

世持御嶽です。世持御嶽には農耕の神様と火の神様が祀られています。島の最大行事が種子取祭（タナドゥイ）が行われる場所でもあります。国の重要無形民俗文化財に指定されており、タナドゥイには島の神々をお供し種を撒き、それが無事に育つことを祈願し、また島の人々の健康、五穀豊穡を願う行事でもあります。10日間おこなわれ、7日目と8日目には島民により、踊りや狂言などの芸能が奉納されます。さらに境内にはかつての村番所、今でいう役所がおかれ戦前までは村役場もありました。また火の神が祀られているのは、琉球王府が火の神を信仰していたためです。

さらに先島諸島の火番盛の1つで国の史跡に指定され、王府からの役人を乗せた船の来訪や異国船の監視に当たった、小城盛もあります。このように、世持御嶽の周辺には、公の施設が置かれていたのです。それも含めて島の史跡が集中しています。来訪神であるミルク神を祀るミルク奉安殿、先の大戦での竹富町戦没者の英霊を弔う慰霊の塔。大豆栽培に貢献された前我那釜多の功德碑。竹富村初の民選村長で近年、竹富島の父と称される上間廣起の像もあります。